

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (観光交流促進コース)			訪問国	カナダ
学校名	浜松西高等学校	氏名	川島美紗	学年	1年

## 1. 応募理由

私は幼いころから世界遺産を訪れたり、学んだりすることが好きです。また、私が住む静岡県は自然豊かで、食べ物も美味しく、とても魅力がある私たちの県をもっと発展させるために私の好きな富士山を活かしてさらにPRを強化することが一つの方法だと思いました。しかし、実際に富士山周辺を訪れたところ、オーバーツーリズムが問題となっていて、富士山を活かすためには、まずはその保護が必要だと感じました。持続可能な観光地域づくりを最終目標として、バンクーバーの環境保護の取り組みやカナダ人と日本人の観光に対する意識の違いを調べるべく応募しました。

## 2. 探究活動

### ①街頭インタビュー

放課後に何日かに分けて街頭インタビューを行いました。インタビューの内容は、「バンクーバーの現地人は観光する際にどのような環境配慮を行っているのか」です。その調査の結果、ごみの分別をしたり、家に持ち帰っている人がとても多かったです。そして、実際に私が街で見かけただけでも100台以上設置されていました。大半のごみ箱には捨てる物がイラストで描かれていて、ごみの分別の意識が表れていました。



また、公共交通機関やエコな乗り物を使う人が多いこともわかりました。電車は二方向のみなので乗り換えがなく利用しやすかったり、自転車を電車に乗せてよいので自転車ユーザーが多かったりしました。レンタルバイクの制度が充実していて、バンクーバーで一番大きい公園では、自転車専用の通路がありました。



### ②企業訪問

訪問したお土産ショップでは、社長様からお話をいただくことができました。店内では、外国人観光客に配慮した多言語対応の表示がされていました。そして、私が一番印象に残っているお話は、どんな人種や国、民族のお客様にも丁寧に接客し、偏見を持たないことが最も重要

であるということです。この考えは、私が将来観光業に携わるうえで最も大切な考えではないかと思い、大切にしていこうと思いました。

### ③エコツアーへの参加

エコツアーとは、自然や地域の文化・歴史を楽しみながら学び、その価値を理解して保全に責任を持つ観光の在り方です。そこでは、ガイドの方が自然環境の保護の大切さを実際に地域の環境を見ながら説明されていました。そして、観光は「守りながら楽しむもの」であるという考え方が私の中に生まれました。

### ④ファーマーズマーケットの訪問

地域のファーマーズマーケットを数件訪れました。そこでは地元食材や環境に優しい食材を多く取り扱っておりました。地産地消で環境に優しい食材が消費されていました。また、この施設は観光地となっており、観光客も利用しやすい場所で経営されていました。そして、この写真のように地元のブランドであることが一目でわかり、この表示はこの施設だけでなくあらゆるコンビニエンスストアでも見かけることができました。



## 3. 全体を振り返って



バンクーバーでは、日本よりも環境配慮の意識が高いことが実際に留学してわかりました。それは、現地人の意識が高いところにありました。この成果を日本で還元するためにできることを考えました。富士山周辺では富士山夢の大橋でオーバーツーリズムが問題となっていました。この原因は単なる人の多さではなく、観光客の配慮の不足ではないのかと考えました。そして、観光は守りながら楽しむものであることを観光客に伝えていく必要があります。私は、地域住民に迷惑とならず、環境配慮ができるように注意喚起文を製作

しました。それを英語と中国語に翻訳したものをインターネット上に投稿し外国人観光客にも伝わるようにしました。今後も富士山を守るための取り組みを続けていこうと思います。